

## 「今月の1枚」

ミツマタ（ジンチョウゲ科 ミツマタ属）*Edgeworthia chrysantha*



写真1 ミツマタの花 2017年3月19日 いの町



写真2 ミツマタの花のつぼみ 2017年3月1日 徳島県つるぎ町

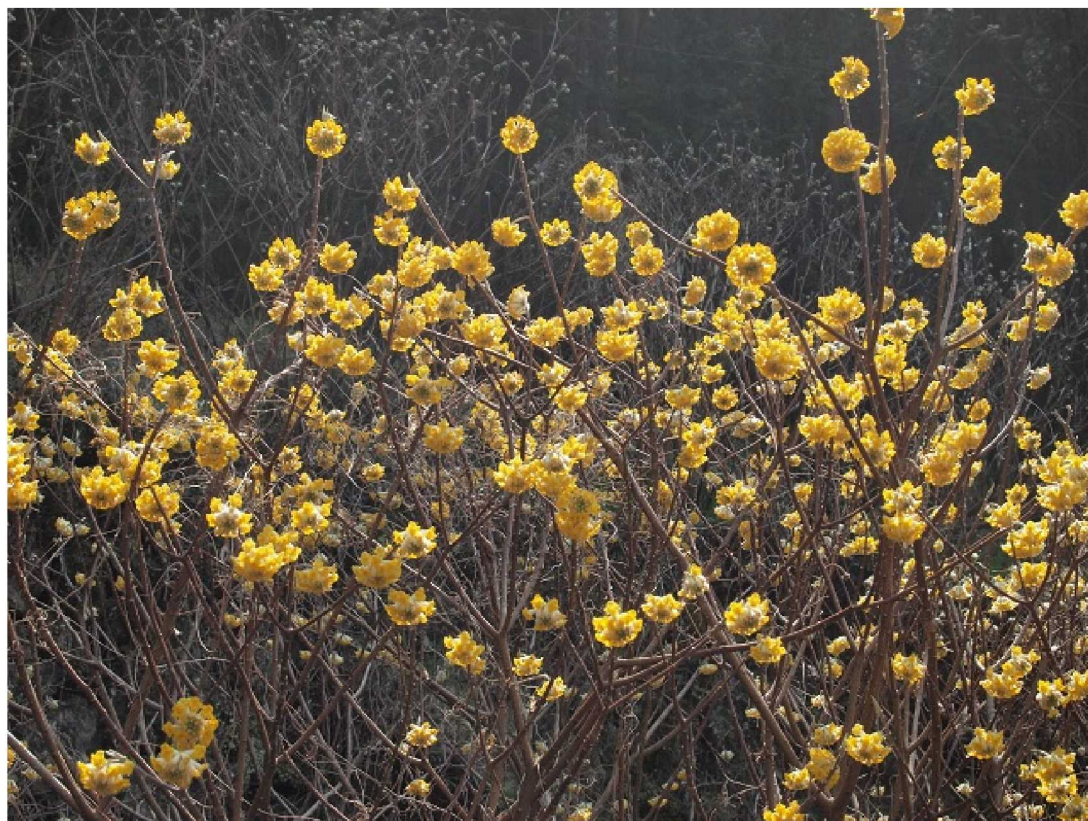


写真3 ミツマタの花 2017年3月19日 いの町

中国原産の落葉低木で、日本では和紙の原料として山に植えられています。耐久性が要求される日本の紙幣に使われるほど重要な資源ですが、生産量は昔に比べて減っているようです。四国では中山間地域のスギ林の林縁などでまとまって見られることがあります。そのような場所ではかつてミツマタを生産していたのではないかと思います。

名前の由来は、枝が三つに分かれることからきています。早春に白いつぼみを付け、葉が出る前にきれいな花を咲かせます（写真1、2）。樹高は1～2mくらいで、よく枝分かれし、自然とまるみを帯びたまとまった感じの樹形になります。

写真・文：酒井寿夫

参考資料：原色日本植物図鑑（保育社）、日本特用林産振興会のホームページ  
(No.267 2017.4.4 掲載)